

第1回 平成25年伊豆大島土砂災害第三者調査委員会 議事概要

日 時：平成27年10月17日（土）10時30分～14時40分

場 所：大島町 北の山出張所 小会議室 他

出席者：田中委員長、岩田委員、黒田委員、鈴木委員、松尾委員
事務局（3名）

概 要：

1. 現地視察

神達地区・元町地区の土石流被害発生箇所にて、現地視察を行った（約1.5時間）。

2. 議事

北の山出張所小会議室にて、事務局より資料説明を行い、質疑応答・討議を行った。
主な内容は、以下のとおり。

（1）公開文献等で得られた情報について 〈資料1〉

- 文献からの引用箇所は、それが引用であることをより明確に示すこと。
- 避難場所・避難所については、地域防災計画の平成20年度修正以降に、南海トラフ巨大地震津波の想定を受けて新たに津波に対するものが定められていたので、新しい情報を入手すること。
- 「防災手帳」など、1986年噴火以降に住民に配布された防災関連資料等についても収集し、その中で土砂災害の取扱について確認すること。

（2）今後の調査内容・調査方法について 〈資料2-1～2-3、参考資料〉

- 今後の資料収集、聴き取りなどにより、例えば以下の点などを詳細把握することが必要。
 - 発災前日からの気象庁、都と大島町とのやりとりの中で、どのくらい危機感が共有され、緊迫感が町に伝わっていたか。
 - 他市町村へ提供されていた情報と比較して、大島町への情報提供は特徴的なものだったのか。過去の台風接近時と比較してはどうか。
 - 16日2時の非常配備を決定後、職員が帰宅するという体制は、従来からとられていたものだったのか。
- 委員会の活動を知っていただくとともに、町民から幅広くご意見をいただくことが望ましい。このため、町民向けアンケート調査は広報誌に折り込む形での実施し、その中で委員会についての情報がHPに公開されていることをお知らせするとともに、アンケート回答の際に自由なご意見等をいただくこととする。
- 職員向けアンケートについては、一部職員の聴き取りを終了後、全職員向けに実施する。調査の匿名性を確保するため、回収は郵送とする。

(3) その他

- 委員会が提言をとりまとめ報告書として提出した後、町として、町民からも意見を聞きつつ防災対策を実現することが重要。委員会としてそのフォローアップを行うなど、対策実現のあり方も今後検討する。

以上